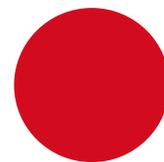


日本遺産 尾道市

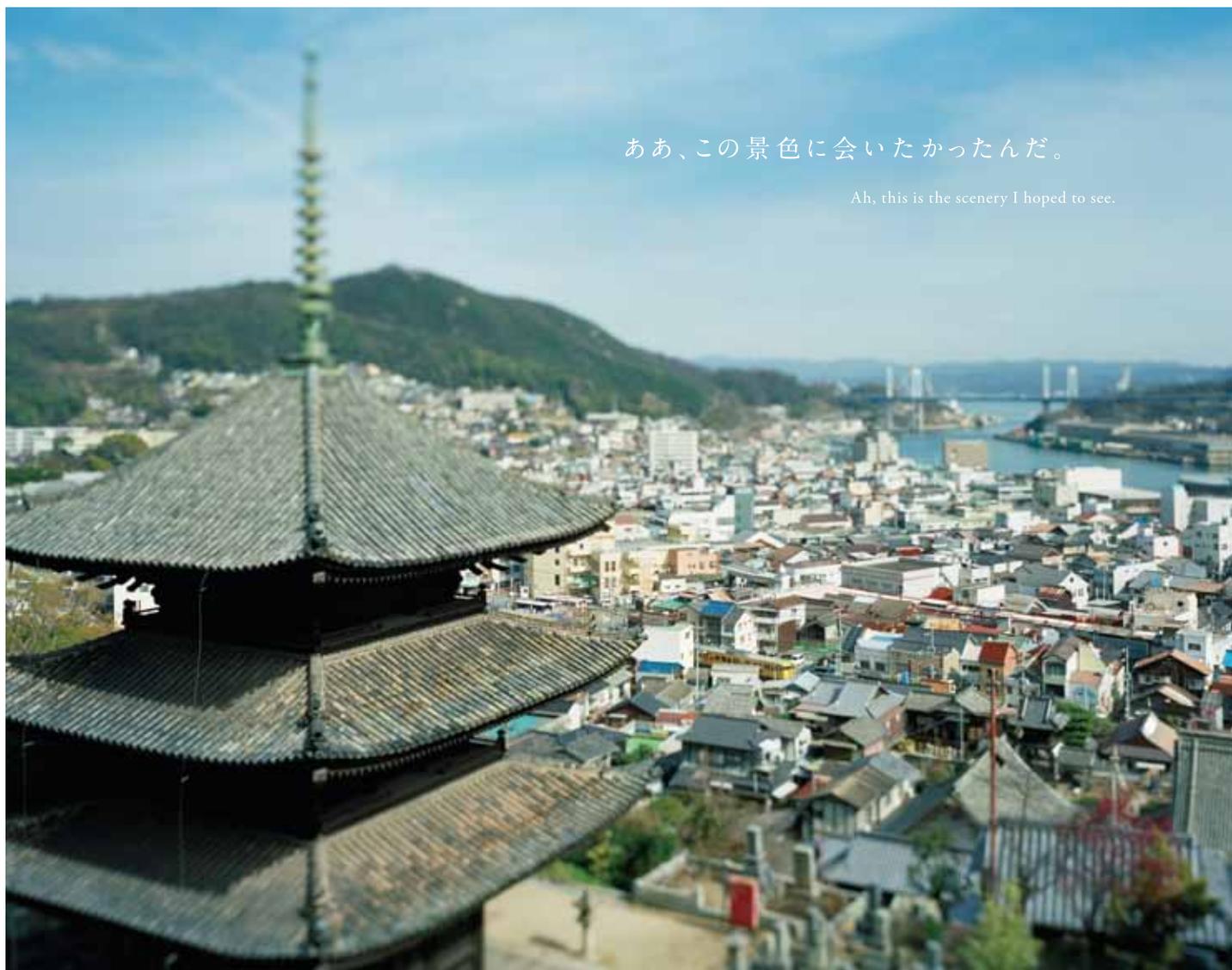


JAPAN HERITAGE

「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」公式パンフレット

ああ、この景色に会いたかったんだ。

Ah, this is the scenery I hoped to see.



Welcome to the Heart of Japan.

Japan Heritage **Onomichi**





ようこそ。 日本の 心の縮図へ。

日本遺産 尾道市

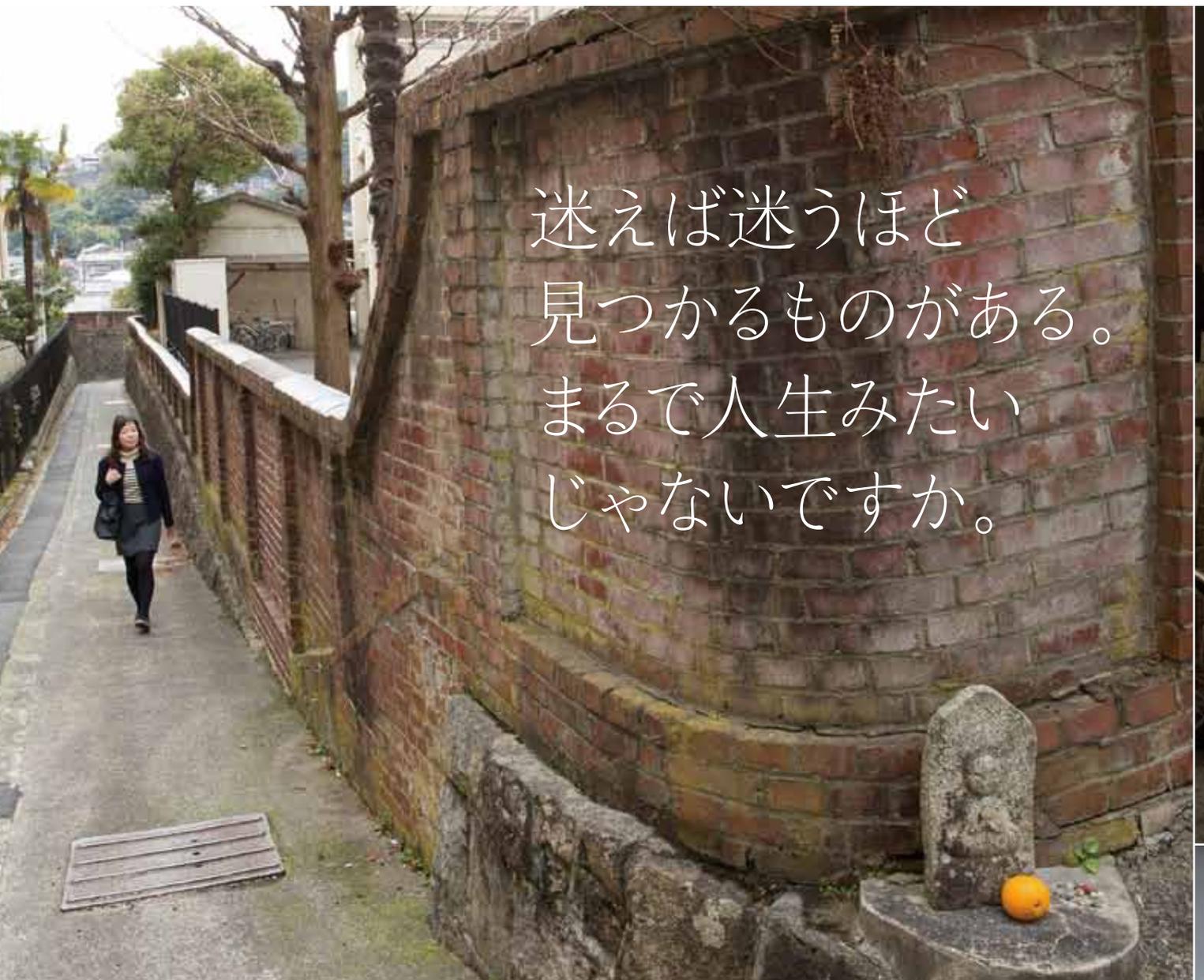
想像してみてください。一筋の川のように流れる海に、
人々の営みが寄り添うまちの風景を。
その海は尾道水道と呼ばれ、その風景は日本の暮らしの縮図です。

中世の開港以来、人と、モノと、財が集まる港町として栄えた尾道。
尾道水道と尾道三山の間の限られた空間に、寺社や家々がひしめき、
坂道と路地につながる景色が「箱庭」にたとえられてきました。

このまちをかたちづくる、どの物語に焦点を当てるかで、
見えてくる箱庭の景色は変わってきます。

それは、あなたの心の中にある、懐かしさの投影かもしれません。
海の向こうの人々がイメージした、盆栽のような日本かもしれません。

ふとした瞬間、人それぞれの心の風景を思い起こさせてくれるまち。
日本遺産の尾道で、あなたの心に出会ってください。



迷えば迷うほど
見つかるものがある。
まるで人生みたい
じゃないですか。





1
坂道と路地の景観

足の向くまま坂道を歩き、気の向くまま細い路地を曲がる。その先にあるのが思いがけない景色であるほど、尾道のまち歩きは楽しくなるのです。

ここまでよく
歩いてきましたと、
中世のお寺さんが
迎えてくれました。



2

西國寺仁王門

広島県重要文化財

仁王門の大きな草鞋は、仁王さんの
たくましい足にあやかろうと奉納され
てきた、坂の多いまちならではの健脚
祈願です。



3
西國寺金堂・三重塔
重要文化財

108段の石段をのぼれば、時代絵巻のような伽藍と、眼下に横たわる尾道水道。境内の広さも、眺めの良さも、「西国一の寺」と讃えられた名刹です。





4

浄土寺本堂及び境内地 多宝塔など

国宝

尾道水道から港に入ると、真っ先に見える古刹で中世のお宝拝見。本堂や多宝塔をはじめ、境内一帯が国宝に指定されています。



5

西郷寺本堂・山門

重要文化財

山と暮らしに寄り添うように佇み、地元の人々に愛されてきたお寺。すぐ隣には昭和初期に建てられた小学校があり、参道でつながっています。



8
 持光寺 絹本著色普賢延命像
 国宝

けんぼんちやくしよくふげんえんみょうぞう

坂道のはじまりに、どっしりとした石の門を構える持光寺。ここでは、中世の繁栄を物語る国宝、延命を功德とする普賢菩薩の仏画が伝えられています。



6

天寧寺塔婆

重要文化財

箱庭のまちのランドマーク。千光寺山の中腹にそびえたつ三重塔は、もともと五重塔でした。尾道水道を望む重厚な姿は、中世の面影を残しています。



7

千光寺 阿弥陀三尊像(磨崖仏)

尾道市重要文化財

笑ったような、うなずいたような。密教の修行場だった山頂の岩肌に彫られた仏さまは、中世からずっと、このまちの人々を見守ってきました。

9

常称寺本堂・観音堂・大門・鐘楼

重要文化財

こんなところにお寺が!?路地をぬけると突然、民家の間に現れる大門。鉄道と国道に境内を分断された中世の寺院は、今もまちに溶け込んでいます。





10
旧福井邸

登録文化財

坂の上から海を見下ろす、大正時代の数奇屋風建築。かつては、地元の近代化に貢献した企業人の邸宅でした。



11

旧三井住友銀行尾道支店

尾道市重要文化財

尾道水道沿いの住友家と港町尾道をつなぐゆかりの地に建つ。商都尾道の面影を残す建物で、近代の繁栄を物語っています。



タイムスリップを
覚悟して、
商都が栄えた記憶の
扉を開けてみたい。



12

そうらいけんていえん
爽籟軒庭園

尾道市名勝

箱庭のようなまちに、さらに箱庭が？江戸時代の豪商、橋本家の別荘だった爽籟軒の日本庭園は、当時、尾道水道から川でつながっていました。



13

旧尾道商業会議所
(尾道商業会議所記念館)

尾道市重要文化財

全国で30番目に商業会議所が設置された尾道。改修・復元された大正時代の建物は、吹き抜けや階段状の議場など、当時としてはモダンな造りでした。



14

旧尾道銀行本店
(おのみち歴史博物館)

尾道市重要文化財

尾道は広島県の銀行発祥の地。「銀行浜」と呼ばれるほど金融機関が林立した、港町の一角に建つ旧尾道銀行本店は、商都・尾道の面影を今に伝えています。

刻まれた歳月も
おもてなしの一つだと、
木のぬくもりが
教えてくれるのです。

15

竹村家

登録文化財

まるで映画のワンシーンのよう。大正時代、尾道水道が一望できる海辺に建てられた木造の旅館。小津安二郎の映画「東京物語」のゆかりの地にもなりました。





16
西山本館
登録文化財

どこか懐かしい佇まい。今では貴重な木造三階建ての大正時代の建築物です。港や造船所関係者が数多く宿泊し、外国人宿泊者のための洋室も残っています。



17
みはらし亭
登録文化財

坂の多い尾道の中でも、ひときわ見晴らしのいい場所に建つ木造の別荘建築。昭和のひととき旅館となり、尾道水道の絶景が何よりのおもてなしでした。



港町の祭りは、
なぜか血が騒ぐ。
この不思議な感覚に
国境はありません。

18

ベッチャー祭

尾道市民俗文化財

江戸時代に疫病退散を願った奇祭。
三匹の鬼が坂道や路地で子どもたち
を追い回し、「ささら」でたたかると
頭が良くなるといわれています。



19

吉和太鼓おどり

広島県無形民俗文化財

そのルーツは、足利尊氏の戦勝を祝い漁師たちが踊ったこと。旧暦7月18日、中世からの港町を横断して練り歩き、浄土寺の境内で踊りが奉納されます。



20

住吉祭

尾道水道の花火は、港で見ても坂の上から見ても、息をのむほど美しい。江戸時代の商人たちが心意気ではじめ、「東の両国、西の住吉」と呼ばれていました。

日本遺産尾道市マップ

- 1 坂道と路地の景観(市街各所)
- 2 西國寺仁王門
- 3 西國寺金堂・三重塔
- 4 浄土寺本堂及び境内地、多宝塔など
- 5 西郷寺本堂・山門
- 6 天寧寺塔婆
- 7 千光寺 阿弥陀三尊像(磨崖仏)
- 8 持光寺 絹本著色普賢延命像
- 9 常称寺本堂・観音堂・大門・鐘楼
- 10 旧福井邸
- 11 旧三井住友銀行尾道支店
- 12 爽籟軒庭園
- 13 旧尾道商業会議所(尾道商業会議所記念館)
- 14 旧尾道銀行本店(おのみち歴史博物館)
- 15 竹村家
- 16 西山本館
- 17 みはらし亭
- 18 ベッチャー祭(毎年11月1〜3日)
- 19 吉和太鼓おどり(西暦偶数年の8月18日)
- 20 住吉祭(毎年7月下旬〜8月上旬ごろ)
・旧和泉家別邸



浄土寺山からの夕景



渡船での通学風景



尾道灯りまつり



猫と天寧寺塔婆



尾道型狛犬



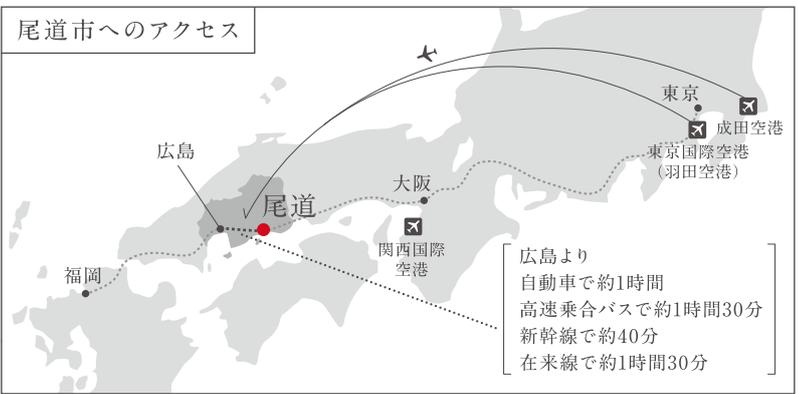
北前船(模型)



住吉社のカ石



瀬戸田の塩蔵





日本遺産魅力発信推進事業

「日本遺産 (Japan Heritage) とは、文化庁が平成27年度から創設したもので、地域に
点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を語るストーリーを
認定する制度です。尾道市は、日本遺産第1号となる初年度に認定されました。

尾道市歴史文化まちづくり推進協議会 日本遺産尾道市公式WEBサイト nihonisan-onomichi.jp
尾道市企画財政部 文化振興課 722-8501 広島県尾道市久保1丁目15-1 Tel 0848-20-7425 Fax 0848-37-2740

